



広告のご用命 TEL 048-795-9932

# 連歌で親子の情

## さいたまで 親守詩大会 相馬さん父子に知事賞



第1回親守詩埼玉大会

～親子の絆回復を目指して～

日本・埼玉・群馬県大会実行委員会

子が親を思っ情、親子の絆を  
連歌という言葉の詩作を通じ  
て再確認する。親守詩おもしろ  
く、埼玉大会(同大会実行委

員主催)の入選発表と表彰式  
がさいたま市内で開催され、  
若年市民18人が参加した。  
五七五の上の句を子がうた

### まち

第1回親守詩大会の受賞者たち。  
前列左から、さいたま市長の  
高橋伸三さん(さいたま市内)

い、下の七を親が返歌として  
受ける連歌形式として、開初  
の大会。最優秀の知事賞は、秩  
父市立高橋中2年、相馬公貴君  
と父親の昌さん(左)「遠く  
の地、一人が(ん)は、父  
長男坊、家康任せ」が選ば  
れている父を思っった。賞  
が取れてとてもうれし」と話  
した。

埼玉県立赤良台第一小1年の  
山田君のおかあさん、なん  
のおはなが、すきですか、は  
のむもったの、はながすき  
な、(傑作もあり、小学生から  
大学生まで全部で15人が受賞し  
た。

小中学校の教師らも教育研究  
組織「NPO」などの夢TOS  
S埼玉の街車夫さんが実行  
委員長となり、元教育委員長

### ひと

で明法大学教授の高橋正昭さん  
が審査委員を務めた。木村さ  
んは親子による連歌作りを全  
国に広げたいと、「(津鉄夫)

ほかの主受賞作品次の通り  
敬称略。▽長編合議賞「たしを  
聞いてみて、電話る、離  
香、母忠実」  
▽さいたま市長賞「うらた時  
さすんだ、家族の笑顔」(2)  
たま市立三宮中1年生の番場楓  
香、母忠実

### であい

れてわかる、有り難きかな(文  
教委員)年生の河上奈那美、母